令和５年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　第２学年　　１０　練馬中学校

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	基本的な文法事項の定着 言葉（語彙力）の不足	・文を書くときに、主述の四型を意識させる。 ・ていねいな語句調べを行う。また、課題図書を読ませたり、新聞記事を活用したりすることで、言葉の数を増やしていく。	
社会	、基礎学力の向上	・いろいろな場面で、しっかりと基礎的・基本的な取り組みを行い、一部の生徒に関しては、何回も繰り返し行うことを繰り返させ、基礎学力の定着に取り組ませたいと考える。	
数学	基礎学力の定着 知識を活用し、数学的に思考・判断・表現する力	・ワークを活用して基礎計算を繰り返し行うことで、基礎学力の定着を図る。 授業の中で、課題に対して自己解決、意見交流、考察・活用の場面をつくる。	
理科	・基礎学力の定着 ・知識の活用と科学的思考・表現力の向上 ・観察・実験技能の向上	・ワークシート作成、丁寧な解説、生活との関連 ・実験中の細やかな観察や考察時間の確保 ・過去の学習知識の復習と現在の考察での活用 ・実験での安全対策、明確な指示と机間指導	
音楽	・基本的な知識技能の習得 ・表現技能の向上 ・主体的に表現・鑑賞する力の習得	・授業内の表現活動への声かけ評価 ・興味関心を深めるワークシートの作成 ・パート内での教え合い、高め合い活動の工夫 ・曲の分析や批評を自己確認できるシートの作成	
美術	・発想の工夫。 ・主体的の取り組む姿勢。	・技能の習得を徹底し、過去の参考作品や、途中経過で参考となる作品の提示などにより、積極的に自ら発想できるよう促していきたい。	
保健体育	・知識に基づく技能の習得と充実 ・戦術を練ることや、つまずきへの気づき ・主運動による向上できる体力への気づき	・単元別評価の工夫 ➡ワークシートの充実・単元計画の再編 ・自己分析力の向上➡　ＩＣＴ機器の活用	
技術家庭	・学習内容の定着 ・授業への積極的な参加 ・技能の向上	（技術） ・身の回りにある物を実例に取り上げ興味をもたせ、授業に積極的に参加できるようにし、学習内容の定着に努める。作業が苦手な生徒には、スムーズに作業ができるよう、必要な場合は個に応じた配慮をおこなう。 （家庭） ・自ら考えそれを発表する場を増やし、授業への積極的な参加を促しながら学習内容の定着をおこなう。裁縫や調理などを苦手と感じる生徒に机間指導をおこない、技能向上を目指す。	
外国語	・自ら考え、表現する力 ・課題への取り組み	・生徒にとって身近な話題を取り上げたり ALT をより頻繁に活用したりして発言しやすい雰囲気をつくる。 ・それぞれの課題に対する取り組み方を具体的に示す。	